

2020年 5月26日 Q&A

アミール・ツアルファティ&バリー・スタグナー牧師

-Facebookライブ Q&A-

<https://youtu.be/vPQWEvdOPwQ>

[アミール] シャローム、皆さん、アミール・ツアルファティです。再び、皆さんとご一緒できることに、ワクワクしています。イスラエルのガリラヤから、ライブ中継しています。そして、この地球上の様々な場所から来てくれた皆さんに、挨拶をしたいと思います。はるばるオーストラリア、ニュージーランド、デンマーク、イギリスから、スウェーデンから、アメリカ全土から、フィリピンから、インドから、その他いろいろな場所から。今日もマイク・ゴレイ牧師とバリー・スタグナー牧師を、毎週のQ&Aセッションにお招きしたいと思います。お二人を今すぐ私と同じ画面に加えます。お二人とも、シャローム！お元気ですか？

[バリー牧師] シャローム。

[マイク牧師] シャローム、シャローム・アレイヘム！

[アミール] さて、再び共有できる素晴らしい機会ですね。ガリラヤから、アメリカは西海岸から、ほぼ東海岸から、文字通り世界中から。今、私は横のコメントで見っていますが、米国全土から、世界中で見てください、感謝しています。これは、ただの中東アップデートや特別アップデートだけではなくて、本当に御言葉を深く学びたい人、質問がある人、答えが欲しい人のためのQ&Aですから。バリー牧師にお願いします。お祈りから始めていただけますか？そしてマイク牧師、司会で全体を導いてください。

[バリー牧師] 素晴らしいですね！主よ、この機会を与えてくださったことに感謝します。そして、世界中でこのような媒体を通して、キリストへの信仰を得た多くの人々の話を聞いています。主よ、あなたに感謝します。あなたは今もなお、誰一人として滅びることを望まれません。ですから主よ、今回は聖徒を装備するだけでなく、あなたのひとり子を救い主として知ることを、まだ必要としている者を救い出してくださいますようにと祈ります。この時を祝福してくださいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

[マイク牧師] アーメン。

[アミール] よし！それでは、司会のマイク牧師にお願いします。「ビホールド・イスラエル」の運営責任者が、今から司会進行をします。ミネソタから。

[マイク牧師] まさにその通りです。ミネソタの、ここに座って。

[アミール] はい、凍える選民です。

[マイク牧師] 凍える選民（笑）温かくなってきたし、いいですね。

[アミール] 素晴らしいですね。さてマイク、あなたが先頭に立ってみんなの質問を読み上げて、司会進行してください。

[マイク牧師] 了解。では、どのように機能するかをご説明します。皆さん、質問の仕方が上手ですね。異なる言葉で何度も何度も聞かれる質問の中から、最も関連性の高いものを、事務アシスタントにピックアップしてもらっています。私たちの質問の中で最も得意とするのは、聖書の質問や預言の質問、中東に関連した質問です。このような質問は、私たちが一番得意としているところですが、質問を選ぶことになります。すべてに答えることはできませんが、できる限り平等に扱いたいと思います。さて、最初の質問はサンディからです。

Q：「携挙の後、私たちは、どのくらい覚えているものなのでしょうか？」

携挙の後、どのくらい覚えているのでしょうか、アミール？

[アミール] 私が一つ言いたいのは、携挙が起こり、神の御前にいて、あなたの体が栄光に満ちた体に変えられたとき、あなたが残してきたものや、以前住んでいた家や、通っていた学校のことを考えようとも思わないと理解しています。神の御前にいるときは、ただただ畏敬の念に駆られていると思います。私たちは畏敬の念を持って、ちょうど…イザヤ書6章のことを考えます。イザヤが主の御前に連れて来られたとき、彼は…光があまりにも眩しすぎて、そこにあったのは神聖さでした…。イザヤは、子どもの頃のことをあまり話しませんでした。彼は親のことも、近所の人のことも話しませんでした。それは、聖なる瞬間でした。だから正直なところ、忘れることはないだろうと思いますが、こういったことが、もはや私たちの考え方や行いの大部分を占める事のない、全く別の領域になるのではないかと思います。

[マイク牧師] バリー牧師、あなたの側からの補足はありますか？

[バリー牧師] ああ、いい質問ですね。私は説教を聞いたというか、一世代前の牧師さんの説教を読んだことがあるんです。彼の名前はジョン・ライスで、メッセージのタイトルは「天国で涙を流すだろうか？」「神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる」（黙示録21:4）を基に、彼は基本的に、過去の記憶は拭い去られるだろうと述べています。なぜなら、神のご臨在の栄光と、文字通り私たちのために古いものは過ぎ去ってしまうからです。また別の人たちの議論では、「愛する人たちが天国に行けなかった事が分かるなら、そこは天国にはならない」ですから繰り返しますが、「ここに来れば全てを忘れてしまう」というような、明確なことは聖書には書かれていないと思います。しかし、アミールが言っていたように、私たちはどういう所に行くのかを思い出さなければなりません。その都の威厳、主のご臨在を見るのです。また、イザヤが高く上げられた主を見たときでさえ、彼は、ただただ圧倒されていたのです。だから、私たちもそうなると思うし、あの圧倒状態はしばらく続くと思います。

[アミール] ええ、私もそう思います。天国で私たちは、キリストのさばきの座の前に立ちますから、自分がして来たことと、その背景にある動機を思い知らされます。そこで、報酬を得るか得られないかが決まるのですから、そういう側面があるはずですが、でも、水道管の水漏れや車の排気管の取り替えとか、日々の気遣いや悩みや問題は心配しなくてもいいと思います。

[マイク牧師] それはきっと良い事ですよ？この世の痛みや苦しみから解放されるのですから。次は…

[バリー牧師] 私たちは、天国でも同じアイデンティティーを維持するのか？その質問はよく出てきますよね。私たちは、今と同じように知られるのか？それが質問の一部だったかどうかはわかりませんが、私たちは天の領域に入っても、今まで通りの人物なのか？一箇所、ヘブル11章を通してそれが分かります。ここでは、昔の聖人たちが、地上にいた時の名前によって識別されています。ですから、もしそれが質問の一部なら、それは確定的に答えられます。

[マイク牧師] 皆さん、私は新しい体を手に入れるのが待ちきれません。頭痛もなく、足の爪の食い込みもなく、肌荒れもなく、顔の左右対称の問題もありません。完璧な体になるのです。これも楽しみです。

[バリー牧師] それと、髪の毛も。

[アミール] アーメン（笑）

[マイク牧師] さて、ジョーンからとても良い質問です。これを処理する機会を与えます。

Q：「大患難の間に砂漠に逃げるユダヤ人の残りの者（レムナント）たちは、そもそも、どのようにして獣のしるしを避けるのでしょうか？」

[アミール] 分かりました。はい、まず第一に、獣のしるしは、“2時間で手に入れないと死ぬ”というようなものではありません。まさに今のように皆が予防接種の話をし、誰もが言っています。「それはプロセスであり、それは実現する。」と。同様に、それも話題になるでしょう。それは推進され、それも押し進められるでしょう。メディアを介して、他のものを介して、芸能人を介して、世界的権力を介して、偽預言者、すべてを介して。だから、彼らには、それが何であるかを理解する機会があると思います。そして忘れてはならないのは、私はユダヤ人として、イスラエル人として、これを言うのは辛いですが、それでも言わざるを得ません。ユダヤ人全員、患難時代のイスラエル人全員が、しるしを避けるワケではありません。残念ながら、しるしを受ける人たちが居る事を示唆するものが2つあると言わざるを得ません。一つは、ゼカリヤ13章。イスラエルの3分の1だけが火の中に入れられて、精錬されて救われます。また、ダニエル書12章では、イスラエルを襲う恐ろしい時のことを語っています。彼は、「国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る」と言っています。さらに彼は、「しかしその時、あなたの民で、あの書に記されている者はみな救われる。」と言っています。私たちは気づかなければなりません。彼は、その言葉を避ける事も出来たのです。彼が、どの書のことを言っているのか私たちは分かっています。子羊のいのちの書です。唯一、この書だけ、そこに名前がある者だけが永遠に生きています。さばきを免れ、神の御怒りから逃れられる。だから私が言いたいのはこれが悪いニュースだと理解する人、これは我々が選んだものとは違うと理解する人たち。彼らは逃げるでしょう。そして、私は、ほぼ確信していますが、誰も本気にしないでしょ。なぜなら、彼らは、どこに逃げるか？認めましょう。砂漠です。21世紀のまともな人間で、より良い生活を求めて砂漠に逃げ込む人が居るでしょうか？ヒッピーか何かでない限り。私が言いたいのは…それから、覚えていてください。もし神が、そこに彼らのために場所を用意していなければ、彼らは、そこで滅びるでしょう。しかし神は、彼らが1260日間そこに居るための場所を用意されます。ですから、彼らは何が起こるかを知り、行動を起こします。恐らく、誰も真剣に受け止めないでしょう。しかし、彼らがしるしを受け取っていない事が明らかになったその時、神が、1260日、大患難後半の3年半の間、彼らを保護します。だから、神は、神のようになりたい人ではなく、神に留まる人々を、そこで守られます。

[マイク牧師] なるほど。バリー牧師、何か付け加えることはありますか？

[バリー牧師] そうですね。忘れてはならないのは、ダニエル書の70週目は、敵やサタンが、神が御子を遣わして行われた事を、あざ笑って真似をしようとする期間です。バプテスマのヨハネのような性質の偽預言者が登場し、汚れた三位一体で、イエスのような性質の偽メシアが出てくるでしょう。だから世界は今と同じように「賛成」と「反対」に分断されるのです。ただイエスに「賛成」か「反対」かだけでなく、反キリストに「賛成」か「反対」か。しるしを受け取るかどうかの決断は、「選ぶのはあなた」となります。それを受け取って、商売をし、売買するか、もしくは拒否して、その代償に命を取られ、首をはねられるか。ですから選択肢があります。今は、キリストに従うかどうか。その時にも選択肢があります。反キリストを礼拝するかどうか。黙示録13章は、礼拝の対象の正体を告げていて、それは、悪魔に力を与えられた偽メシアです。だから、それは決断であり、各自それぞれ頭をかけた決断です。そして（獣の）刻印を受ける時、基本的に、自ら永遠の裁きをもたらすのです。

[マイク牧師] この質問の後半は、10ヶ国連合についてです。

Q：10ヶ国連合は、いつ登場しますか？大患難前なのか、それとも大患難が始まってからなのか？

[アミール] 明らかに、反キリストは彼らの中から台頭たいとうします。ですから、反キリストの台頭が大患難の始まりになるのであれば、反キリストが彼らの中から出てくるためには、彼らはその少し前に存在しなければなりません。これは、ダニエルの幻の10本の角を持つ獣です。もちろん10本中3本は引き抜かれ、そして、小さい角が出て来て、大言壮語たいげんそうごします。だから間違いなく、彼がそこから台頭する為には、その前に必要です。どれぐらい前かは分かりません。私は預言者ではありませんから。しかし、彼が台頭するためには、彼らがすでに定位置にいる必要があります。

[マイク牧師] バリー、興味深い質問を用意しましたよ。「今の時代に使徒はいるのでしょうか？」デーブが尋ねています。

Q: 「今の時代に使徒はいるのですか？いるとしたら何をしていますのですか？」

[アミール] バリーは、そういう質問が大好きです。

[バリー牧師] (笑) まあ、「はい」と「いいえ」ですね。”小文字の使徒” (apostle) は居て、それは単に派遣や遣わされた人を意味します。そして、そうですね。私たちは皆、世に福音を宣べ伝える為に遣わされています。しかし、ペテロ、ヤコブ、ヨハネなどのような「使徒職」という意味では、聖書の中で大文字Aの使徒 (Apostle)、つまり神から直接啓示を受け、御言葉である聖書を執筆する権限を与えられ、世界中のキリストの体に書簡を書いた人たちです。神が定められた展開があることを認識しなければなりません。神は最初に使徒や預言者を遣わして、神の靈感によって神を求める人々の命に語られ、そして、使徒職は使徒時代に終わりました。そのため、この怪しい「7つの山の命令」やその他についての情報はありません。それらを売り込んでいる「新使徒改革」 (NAR) で知られる団体は、自分たちが、ある意味、ペテロやヤコブ、ヨハネのような「現代の使徒である」と主張しています。しかしパウロが、自分は月足らずで生まれた者だと認識しながら (コリント第一15:3~9) 彼は、使徒的権威と使徒的資格について、非常に重要な情報を与えています。つまり彼は、復活したイエスの姿を目撃した最初の集団、初めからミニストリーの一員ではなかった。彼は、最後の要因として、自分の資格を挙げ、イエスが復活した状態、あるいは復活後の状態でイエスを目撃した事を述べています。だから、誰でも、こんにちその主張をする者は、彼らが復活したイエスの姿と状態を見たと言っているのです。ですから彼らは天に旅立ったか、イエスが地球に来たかのどちらかです。物理的な形で。幻ではなく、夢でもなく。物理的な形です。聖書はそれを支持していません。また、終わりの場面に登場して、キリストの再臨の準備が出来た世を迎え入れる使徒たちやその団体も、聖書は支持していません。それは、とにかく聖書的ではありません。しかし、「今日の"使徒"なんてものはない」と言わないように注意が必要です。なぜなら世界中に、送り出される人がいるからです。しかし、彼らは古典的な意味での使徒ではありません。

[アミール] あ、バリーがいなくなった。

[マイク牧師] バリーが消えましたが、復帰出来るようにします。しかしアミール、もし誰かがあなたのごとく来て、こう言ったらどうでしょうか？「私は『使徒』だ。主からの言葉がある。」そんな主張をする人に、どう答えますか？

[アミール] まあ、明らかに神からではありません。大文字のAの『使徒』は、人間からではなく、聖霊によって任命されましたから。そして、本物の使徒たちは、聖書を書きました。本物の使徒たちは...あ...バリーを加えましょう。はい、バリー。復活したバリーと一緒にいます。

[バリー牧師] 私の答えが気に入らないなら、言ってくればよかったのに。(笑)

[アミール] 何があったのかは不明ですが、とにかく...先ほど言ったように、誰かが自分はこの使徒の一人だと主張するなら、その人は、1世紀の使徒について、聖書の命令に従っていないと言えるでしょう。そして間違いなく、私はその人の言うことをすべて信用しません。そもそも、自身を使徒と対等であると認識しているなら、覚えていますか？聖書は、教会は使徒と預言者たちの土台の上に建てられ、イエス・キリストがその礎石であると告げています。だから、土台を上に乗せることはできません。下に置かなければなりません。もし自分が基礎の一部であることを主張し、そして今、終わりに居たいなら、まず第一に、あなたは聖書に反することを説いています。第二に、あなたが言っているのは、御霊が何か、聖霊が聖書の書き手たちに語った内容と矛盾する事を語ったということです。だから、あなたの言ったことは明らかに間違っています。誰も、聖書に何かを追加したり、取り除いたりすることは許されていないからです。私が言いたい

は、間違いなく、自分は新しい使徒だと主張し、一世紀の使徒たちと同じ使命を持ってここに居て、イエスの再臨へと世界を導く、と主張している人たちは間違いです。事実、彼らの神学全体が間違っています。私たちは、イエスが戻って来られるために、この世界を準備しているのではありません。私たちが行って、主とともに居る場所を、主が用意してくださっているのです。彼らは完全に間違っています。だから、私はその言葉を使うのには、非常に、非常に、非常に注意しています。「預言者」という言葉も同様です。ご存じの通り、使徒について言及しましたが、預言者も同じです。預言の賜物はあります。しかし、こんにち、誰一人として「私は預言者だ」と言い、「主は私に、”最終的に反キリストは台頭しない”と言われた。」とは言えません。あるいは、「主は”エゼキエルの戦争は結局起こらない”と言われました。」とか。それらの預言者たち（旧約聖書の預言者たち）は、神から聞いたのです。彼らは、自分たちの私的な解釈によっては、一切語りませんでした。第二ペテロ1章20-21節が告げています。したがって…。ところで、イエスご自身は、彼らの言葉を引用して仰っています。「わたしがそれだ。」「わたしは預言者たちが書いたことを成就するために来たのです」（マタイ5:17参照）またイエスが、エマオへの途上で二人の弟子たちを叱責されたのは、彼らが、預言者たちが言ったことを信じていなかったためです。だから、旧約聖書の預言者たちは、こんにちに至るまでの神の計画を、主が明らかにされた人々だったのです。さて、こんにちの預言の賜物は別のもので、よりローカルというか、個人的なものです。神が、あなたの教会に関する事、家族に関する事、身の回りの何かについて、あなたに明らかにされるのです。しかし、それはイスラエルや、教会、そして世界のための神のご計画の領域ではありません。それは確かです。

[マイク牧師] ええ。うわー、よくぞ言ってくれました。ええ、我々は気をつけなければなりません。誰かが、神のみことばに反して教えている場合は特に。しかし驚くことに、人々は、そのような自称”預言者”や、”使徒”について行きます。皆さん、キャシーからの質問です。

Q：「神はイスラエルの国を選ばれたのですか？それともヤコブという人だけですか？」

[バリー牧師] そうです。神はヤコブという人を選ばれ、彼からイスラエルが出来ました。神は民を選び、主は彼らを選ばれました。それは、彼らが他の人よりも数が多いからではありません。しかし、主はご自身の愛を、彼らの上に置くことを選ばれたのです。主は、この民族を選んでメシアをもたらし、神の基準と、神の律法を世界に教えたのです。そして、それを通して、パウロは、ユダヤ人であることの利点は何かと尋ね、言いました。

「あらゆる点から見て、それは大いにあります。第一に、彼らは神のことばを委ねられました。」

(ローマ3:2)

ですから、ユダヤ人を通して旧約聖書がもたらされたのです。私たちは、覚えておかなければなりません。ルカを除いて、新約聖書の著者は、すべてユダヤ人でした。つまり、神は、ただ個人を選んだのではなく、神は個人を選び、それを通して物事を行われたのです。そこから国家が誕生し、それを通してメシアが到来し、聖霊によって、神の御言葉が書かれました。

「神の聖なる人たちが聖霊に動かされて語ったからです。」（第二ペテロ1:21）パウロが言うように、**「昔書かれたもの（旧約聖書）は、すべて私たちが教えるために書かれたのです。」**（ローマ15:4）だから神は、間違いなくユダヤ人を国家民族として選び、神の献身と愛を私たちに示されました。主に対して、一時期反抗的であった人々でさえも、主は彼らを捨てませんでした。主は彼らを、永遠の相続を約束された地に連れ戻し、彼らに忠実であり続けました。こんにちのイスラエルの存在は、人々が国家的に神に反抗しても、神の愛と忠実さを証明しています。

[アミール] アーメン。また、イスラエルをパズルのピースに例えると、それを置くと、周りのすべてのライトが点灯し、それが無ければ、全てのライトが消灯しています。それがあれば、すべてがうまくいくのです。だからこそ、イスラエルの地への帰還は、不可避でした。他のすべてのことが起こり、物事が然るべき

場所に落ち着くために、それは、起こらなければなりません。そして、各方面からの大きな反発があったのも、これで説明がつきます。まず第一に、ユダヤ人が必要な土地を持つ事。第二に、国家を宣言する権力の存在。第三に、新しい名前の受け入れ。ローマ皇帝のハドリアヌスが、ペリシテ人にちなんで付けた恐ろしい名前”パレスチナ”に代わって、新しい”古代の名前”「イスラエル」。そして、最も重要なことは、もちろん、エルサレムが我々の手の中に戻ってくることも、最終的にユダヤ人のために神殿を建てることも、ユダヤ人が自分たちの土地に戻らない限りできませんでした。その為に、私は信じているのです。私たちは、イエス・キリストの時代以来、最も祝福された世代を生きています。なぜなら、我々の見ている前でイスラエルが復活し、エルサレムが復活し、すぐにイスラエルに攻めて来る連合が形成されるのを見えていますから。私たちは背教を見て、不法の霊を見て、すべてを見えています。しかしピースは…。なぜなら、不法は常にそこにあり、そして背教は、残念ながら、すでに2000年前に始まっていました。しかし、イスラエルは、欠落していたピースだったのです。主権国家として立っている国が、その土地へ帰還、分割されていない首都として立つエルサレムが、彼らの手に戻りました。これが欠けていたのです。私たちは、これをあまりにも軽視します。これは何も大した事ではないと、私たちは本気で思っています。皆さん、このピースがなければ、この世界には何も起こりません。そして長い間ずっと敵は、我々を、我々の土地から、我々の言語から、我々の首都から、すべてのものから遠ざけようとしてきました。そして、あらゆる不利に反して、神は私たちを救ってくださいました。まず第一に、エゼキエル書36章8節に従って、その土地を癒してください、そして、エゼキエル37章に従って、ホロコーストの灰から私たちを救い出してくださいました。そして今、私たちは安心・安全で繁栄しています。そして今や、エゼキエル書38、39章の寸前です。彼らが、神の選民ではないと、なぜ一瞬でも思えるのでしょうか？このようにして、神が彼らを救い、ここまでの道を切り開いたのだとしたら？

[マイク牧師] せっかくその話をしているので、アイラの質問です。アミール、あなたが全体像を描いていますから。アイラには、カリフォルニアに住んでいる父親がいて、その質問は、

Q：「携挙の後、父は、何らかの形でイスラエルの地に連れ戻されるのでしょうか？それは必要なのか？」

ユダヤ人の帰還は、100年以上前から続いています。それを、彼のお父さんに勧めるべきでしょうか。それとも、どう説明しますか？アイラに、どんなアドバイスができますか？

[アミール] ちょっと待って。よくわからなかったのですが、アイラのお父さんはユダヤ人なのですか？

[マイク牧師] 彼の父親は、カリフォルニアに住むユダヤ人ですが、何らかの形でイスラエルに連れ戻されるのでしょうか。

[アミール] 彼は信者ですか？

[マイク牧師] 携挙の後？何？

[アミール] 彼は信者なのかな？

[マイク牧師] 書いてないですね。

[アミール] どちらにしても、彼女が携挙について尋ねているなら、彼が信者であることは明らかですから。信者であれば、いずれにせよ、私たちの家は天国です。

[マイク牧師] それは、いいところを突いています。

[アミール] そして我々は戻ってきて、主と共に統治します。そしてユダヤ人は、多分エルサレムに留まる特権に与るでしょう。パリーを南カリフォルニアに送り返す間にね。(笑)知る由もありません。でも私が言いたいのは、信者であれば、こんなことは心配しなくても良いのです。正直なところ、私はいつも、ユダヤ人が自分たちの国に戻ってくるのを見たいと思っています。ここは、地球上で唯一のユダヤ国家ですから。ここだけは、先人たちがユダヤ人国家として建国した、ユダヤ人国家と呼ぶ権利があります。でも、代々この土地を離れていた人が、突然すべてを捨ててここに戻ってくるのは、簡単なことではないのはわかってい

ます。それは理解しています。ここで生まれた私が言うのは簡単です。でも、前の世代にとっては、すべてを捨ててこの土地に引っ越すのは簡単ではなかったことは分かっています。でも携拳の後、私たちは、はるかに良いところに行くのです。そして、私たちが栄光の体でここに戻って来た時には、地球はすっかり変わっています。イエス・キリストはエルサレムから統治し、私たちは主とともに統治し、墮落した世界の一部は、完全ではないにしろ、部分的に回復されます。新しいエルサレムと新天新地ではありませんが、それでも私たちの人生は良くなり、エルサレムには美しい川が流れ、動物が毒を持つとか、そのようなこともなくなります。しかし、私が言いたいのは、もし今、彼がイスラエルに移住したいなら、さらに良いです。なぜか分かりますか？なぜなら、イスラエルで祈れば市内通話です。そして携拳の時には、イスラエルから天国に行く方が、はるかに早いです。

[マイク牧師] はい。アイラのお父さんは未信者だと、そこの掲示板で言っていました。皆さん、場所ではなく、イエスというお方を探してください。イエスのご人格と、アイラのお父さんへの証しが、この段階では決定的に重要です。バリー牧師、何か付け加えることはありますか？

[バリー牧師] ええ、J・ヴァーノン・マクギーは、それが成就するためには、ユダヤ人はイスラエルの地理的境界線内に戻らねばならないという立場だったと思いますが。今でも、そういう主張をする人たちはいます。しかし、聖書は「ユダヤ人だと自称しながら実はそうでない者」がいると告げています。彼らは、「すべてのイスラエル人がイスラエル人ではない」とパウロが言いました。そして、物事が預言的に進むために、すべてのユダヤ人がイスラエルの地に戻る必要はないと思います。

[マイク牧師] ええ、明確にしてくれて、ありがとうございます。非常に議論の多い、しかし楽しい話題に移ります。せっかくイスラエルでの出来事や選びの話をしているので、自由意志と神の主権のバランスはどうなっているのでしょうか？正確な質問は、

Q：「自由意志と運命づけは、どう両立するのでしょうか？」アミール？

[アミール] それはとても簡単なことで、神はすべてをご存知です。主の完全な知識の中で、誰が主を受け入れ、誰が受け入れないのかをご存知です。しかし、主は私たちに自由意志を与え、私たちが決めることを許してください。そうでなければ、私たちは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、神を愛することができません。自由意志がなければ愛は^{へんざい}ありません。したがって、自由意志を持つことは必要なのです。しかし、もちろん私たちが話しているのは遍在で全知全能の神であり、すべてを知っておられます。だから、主の完全な知識の中で、主は、あなたが明日する事を、今伝えることができます。でも、あなたは、あなたが明日何をするのか分からない。あなたの明日は、あなたの今日の決断に基づきます。良いですね？だから、もし今、あなたが出かけて崖から飛び降りようと思えば、明日、あなたは埋葬されています。分かりますね？でも、神は今日あなたに「それはするな」と言うでしょう。でも私が言いたいのは、それはあなたの選択です。そして、愛を持つためには、自由意志が最も必要不可欠なものです。意味もなく自動モードで、家族に愛されたいとは絶対に思いません。意味もなく、選択の自由も無ければ、それは愛ではありませんから。それは愛ではなく、そして神が私たちに望んでおられるのは、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして神を愛し、霊とまこと^{へんざい}で神を礼拝することです。もしあなたが、そのように設計され、プログラムされていれば、それは霊とまことではありません。プログラムされて設計されているなら、神の霊もまことも必要ありません。優秀なプログラマーが必要です。しかし、あなたが自由意志を与えられ、そしてあなたが神に従うことを選択したとき、そういう人々を、神は望んでいるのです。この2つは、私たちは決して理解できません。私たちは1つの領域に住んでいて、神は常に至る所におられますから。時間と空間の感覚が全く違います。しかしそれにもかかわらず、私たちはまだここにおいて、聖書の全書において、神は、人々の選択とその結果に対処しておられ、あらかじめプログラムされた国や人々に対してではありません。

[マイク牧師] 私はいつも驚いていますよ、アミール。人々は人間の悪の選択を神のせいにしていて、彼らは両方を望みます。彼らは、自分たちの悪い選択のすべてから、彼らを救う完璧な世界を望んでいます。し

かし選択を奪うことは、純粋に愛する能力を軽減することになります。だから、ちょっとおかしいんです。バリー牧師、運命づけと自由意志。その話題に何か言いたいことがありますか？

[バリー牧師] まあ、スポルジョンがうまく表現していると思います。ちょうど同じ質問を聞かれ、「宿命と自由意志はどうやって両立させるのか？」と。そして彼は言いました。「友たちを和解させる必要はない」これらは、互いに相容れない用語ではありません。どちらも聖書の概念です。そして、実際にパウロがローマ人への手紙8章29節で言ったことを見れば、宿命の側面はキリストのイメージと一致しており、そして、自分の自由な意志で主のもとに来て、主に仕えることを選択する人たちは、ヨハネが言うように、今日、誰に仕えるかを選んだのです。彼らには、ピリピ3章が語るように、栄光の体を含む永遠の運命があります。

「私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。」（ピリピ3:21b）

ですから、アミールが言ったように、ずっとさかのぼってエデンの園を見て、人々はよく聞きます。「神はどうして、人間が墮落することや、原罪の結果、私たち全員が罪を持って生まれる事を知っていながら、人をお造りになられたのだろうか？」それは、アミールが言っていたように、ロボットの服従であれば、愛なんてものは存在しないからです。愛が存在するためには選択肢は不可欠で、自由意志がなければなりません。したがって、私たちは神のご計画と目的の中にも、それを見ることが出来ます。アミールが言ったように、神の予知は神に知恵を与え、人々をご自身に引き寄せることを可能にしています。そして、これらの質問の多くは、人々の思考の中でこんがらがって、なぜなら彼らは…、私は教会にはよく言っていますが…、良いですか、皆さんはカルヴァン派でもアルミニウス派でもなくても良いのです。どちらかになる必要はありません。それがあなたの救いを決めるものではありません。キリストを信じることが、あなたの救いを決定づけるのです。だから陣営を選ばなくてもいいんです。私はよく「私は忠実な”献身主義者”だ」と言ってきましたが、それぞれの陣営には正しい部分と間違っている部分があると思います。そして、神がある者を"予め"永遠の死に選び、他の者を選択の余地なく"予め選ぶ"事に関しては、私はそのような立場を保持していませんし、そうだとは信じていません。

[マイク牧師] そうですね。さて、デイブの質問です。

Q：「私たちが祈るとき、私たちは父に祈るのか、イエスに祈るのか。私たちは、イエスの御名によって父に祈るのでしょうか？私たちが御父ではなく、イエスに祈るとどうなるのでしょうか？私たちが祈る時、イエスの御名で祈らないとどうなりますか？私たちの祈りが聞かれるための正しい祈りの公式はありますか？」

アミール、何かコメントはありますか？

[アミール] ええ、今、私がどう答えても苦情が来るのは分かっています。でも、答えます。まず…そもそも、イエスが祈り方を教えておられます。ですから、聖書の中に祈り方を学べる場所がないというわけではありません。第二に、宗教的になり過ぎると、それもまた見失ってしまうと思います。私が心底信じているのは…、これは、まるで"イエス"なのか、それとも"イエシュア"なのかという感じで、イエスと呼ぶとき、彼は本当に聞いてくれているのか、それともイエシュアと呼んだときだけなのか。そうすると、少し宗教的になります。なぜなら、明らかにあなたの言語でイエスと呼ぶ時、ところでギリシャ語では、彼らは主を"イクスース"と呼んでいました。これは当時のギリシャ語の、他の場所での主の呼び名です。それならば明らかに、それは主であると私たち全員が分かりますし、主はそれが主ご自身であることをご存知です。私が信じているのは、祈るとき、イエスの御名によって御父に祈るように、イエスが祈り方を教えてくださいましたが、ちなみに、イエスの御名でイエスに祈るのも少し余計です。文法的にもちょっとズレてますね。私は、御父に向かって、イエスの御名でお願いするのがベストだと思います。

「あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。」(ヨハネ14:13)

だから、それをしないとはいけません。さて、もし誰かがイエスに祈った時、あろう事に、神が言うと思いませんか？「いや！！人違いだよ。今は話を聞く気はない。言葉を変えて、私のところに戻ってきなさい！」これは神ではありません。神は心をご覧になります。ええ、多分、私たちは分からないので、違う形で言うかもしれないかも知れません。でも、私は「このやり方だけだ！」という宗教的な精神は嫌いです。ただ、「マリアに祈ることができる」と言うのは、私が一線を^{かく}画しているところです。マリアは神の一部ではないし、三位一体の一部でもないので、私はそのように扱うことはありません。しかし、もし誰かが何らかの形で…、ところで、私は25歳の時にドイツ人の友人とその議論をしたことがあります。ドイツ人が、「なあ、イクスース」と言って、イエスと話し始めるのが本当に気になったのです。ユダヤ人の私には、それが間違っ^かて聞こえて気になりました。私たちが知っていたのは、ただ、私たちはいつも父なる神に祈っているという事だけでしたから。そして今、ようやく分かったのです。彼に祈りに^{こた}へてもらうため、私は、どの名前で祈ることができ、祈るべきであり、祈った方が良いのか。でも、長年かけて私が学んだのは、白と黒だけではないという事。「心の問題」や「心の意図」という問題があることを理解するようになりました。そして、神にとっては、それが全てだということが分かりました。神は宗教を嫌い、神は宗教精神を嫌っておられます。ですから、「どう祈ればいいのか？」と聞かれるなら、父なる神に祈り、いつもイエスの御名によってそれを求めます。しかしもし、誰かがイエスに祈ったとしても、神はあなたの祈りを聞かれない！とは私は言いません。これは絶対に間違っています。

[マイク牧師] そう、そうですね、ありがとうございます。バリー牧師何か付け加えることはありますか？

[バリー牧師] ヨハネの福音書14章14節でイエスが仰っています。「あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。」ですから、私たちには、具体的にそれがあ^るのです。しかし、私たちは忘れてはなりません。イエスは、無駄な繰り返しで祈る、ユダヤ教の儀式で育った弟子たちに対処されました。イエスはそれに反対して警告され、弟子たちは、イエスが彼らとは違う祈りをしていることに気がついたのです。そこで彼らはイエスに尋ねました。「祈り方を教えてください」面白いのが、「祈り」という言葉は、ギリシャ語では、 $\pi\rho\omicron\sigma\epsilon\acute{\upsilon}\chi\omicron\mu\alpha\iota$ という巨大で長い単語で、「向かって動く」という意味です。それは“礼拝”という言葉に出てくるのと同じ接頭句で、「願いどおりに」という意味です。ですから、祈りとは基本的には、私たちが神の願いに向かう、あるいは神の意志を知るために上に向かい、あるいは、神が私たちのために持っておられるものに向かって進んで行き、どんな状況や条件の中でも、いかに神に仕えるかを私たちが知り、理解する事です。ですから、繰り返しますが、祈りの目的を認識することで、祈りの方法よりも、よく理解することができるようになります。私たちは、主の祈りを何度も何度も形式的に繰り返したりしません。イエスご自身が、それは虚しい繰り返しであり、聞かれないとおっしゃいました。しかし繰り返しますが、私が思うに、イエスを通して御父への道が私たちに与えられているという事実に注目すれば、アミールが言ったように、父なる神、子なる神、神の三位一体のご性質、それらはすべて一つです。だから、誰かが無意識の内にイエスの御名で祈らなかったとしても、神は「手紙に切手を貼っていないから、聞かない！」とは言われません。主は聞かれます。そして私たちは、こうなさいと言われているのですから、これをやるべきです。しかし、具体的にこの側面を知らない人の祈りが排除されるわけではありません。

[マイク牧師] はい、ありがとうございます、皆さん。さて、ダマスカスの問題といえば、サンドラからの質問です。

Q: 「ダマスカスの崩壊が、未来の出来事である事はどうして確証できますか？」

アミール、ゴランに行って、シリアとダマスカスの全体を見ることができますね？写真もあります。では、ダマスカスの崩壊が未来の出来事であると、なぜ分かるのでしょうか？

[アミール] 答えが2つあります。というか、答えが2つの部分に分かれます。1つ目は、歴史の中でダマスカスが完全に破壊されたことは一度もありません。他の多くの場所と同じように、部分的に破壊された事はありますが、しかし、そこは維持されていて、バビロンのような完全に破壊された他の多くの場所とは異なり、ダマスカスは、実際ローマ帝国の政府、後にイスラム教のスルタンやその他全ての活動拠点でした。だから間違いなく、ダマスカスは非常に重要な場所であり、今でもそうです。聖書にはイザヤ書17章に、そこは破壊された後、廃墟になると書かれていて、私は、近い将来起こると信じています。だから、ダマスカスがまだ立っているなら、…明らかに、廃墟になるほど完全には破壊されていません。また、私たちの知る歴史の中でも、未だ一度も起こっていないことが分かっています。だから…ほら、ローマと同じです。こんにちのローマを見てください。ローマは廃墟になるほど完全に破壊されたことはありません。ずっと昔からあり、今もあります。異なりませんが、まだ立っています。ダマスカスもそうです。しかしポイントは、そこは瓦礫の山の廃墟になる。そういう事です。ですから、イザヤ書17章が、イザヤ書46章の言うことに該当することは、間違いありません。「わたしのよな神はいない。わたしは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ」（イザヤ書46:9~10）だから、それは具体的に「まだなされていないこと」の領域に該当します。イザヤ書17章は、「まだなされていないこと」を語っています。

[マイク牧師] ええ、それは素晴らしい指摘です。シリアに行けば、いくつかの都市、小さな都市でも完全に解体されて廃墟になっていたり、完全に見捨てられている所もあります。すでに前例があるのです。バリー牧師、何か付け加えることはありますか？

[バリー牧師] まあ、ええ、認識しておく必要があると思います。最近、イスラエルに次いでニュースになっている一つの地理的な地域は、シリアだと思います。そして、エゼキエル戦争のシナリオの主要な役者が、ここにいます。ロシアやトルコ、リビアなどの国々、そしてもちろん、ペルシャとして名前が挙がるイラン。今や彼らは、イスラエルの北部国境、シリア国内に駐留しています。マイク、あなたは他の都市が破壊されたことについて、良い指摘をしてくれました。ダマスカスが国を代表する可能性がありますから。エルサレムをしながら、イスラエルについて言及したり、また、"ワシントンDC"と言って、アメリカ全土を指すように。しかし、疑う余地なく、実際のダマスカス市も破壊に含まれているでしょう。しかしまた、もっと広い範囲かも知れません。ですから、私たちが今、預言的なシナリオのどの位置にいるのかを見る時、それを認識することは重要だと思います。そして、イスラエルがニュースに上り、故国に戻ってから72周年を祝っています。さらに今、イスラエルの北の国境、シリア国内にエゼキエルの勢力がいるのです。本当に近いですよ！

[マイク牧師] ええ、そうですね。ドナからの質問です。

Q：「次の神殿をめぐって、混乱が起きています。エゼキエルの神殿は第三神殿ですか？第四神殿ですか？」

アミール？

[アミール] 第四神殿です。非常に明らかです。A) エゼキエルが千年王国について語っているという事実。エゼキエル書の最後の章の一部で、彼は、12部族の間で土地が完全に再分割される事について語っていて、その前に彼は、神が神殿から全世界を統治することを話しています。覚えておいてください。第三神殿は、反キリストがイスラエルに建設を許可する神殿で、そして彼がそこに入って、その場で自身が"カミ"であると宣言するのです。第二テサロニケ2章が告げています。私が言いたいのは、第三神殿の賞味期限は7年以上ありません。本当に考えてみれば、彼らが建物を建て始めた瞬間から、開館し、彼が中に入るまでの瞬間まで、それから彼らが開始してから7年後にイエスが戻って来られて、そして、イエスの足がオリーブ山に立つと地震が起こり、全てが裂けて破壊されるのです。ですから、4つある全部の神殿の中で、2つは過去にあり、2つがもうすぐ登場しますが、第3神殿は賞味期限が最短で、最長でも7年でしょうか…7年もないでしょう。建設の期間がありますから。そして、一旦開館して、一旦反キリストが支配する場として宣言され

ると、それまでです。その時、ユダヤ人を裏切ります。その時、彼は契約を破り、7年間の患難の後半に入ります。ですから、第三の神殿は最悪であり、最も短命の神殿です。そしてエゼキエルは、間違いなく四つ目について語っています。

[マイク牧師] ケリーからの質問です。バリー牧師、今の議論に加えて犠牲について。

Q：「エゼキエルの神殿の第三神殿と第四神殿に、いけにえはあるのでしょうか？また、もしそうだとしたら、イエスがすべての罪のためのいけにえなのに、なぜそれがあるのでしょうか？」

これについて、説明出来ますか？

[バリー牧師] もちろん。第三神殿では、確実にいけにえがあります。なぜなら、反キリストが、それを終わらせますから。だから、その期間にユダヤ人のいけにえが復活することを暗示しているのが分かります。エゼキエルというか、第四神殿でいけにえが回復するかどうかは、大きな疑問ですね。そして、唯一の正当な議論は、キリストの死を指し示すというよりも、記念として彼らがそれを行うという事実以外、誰もその理由を知らないということです。千年王国の期間、地球の表面には不信心者が出てきます。キリストが、私たちの罪のために支払った対価の大きさを理解しなければならない人が出て来ます。動物のいけにえの視覚的な側面は、先のイエスを指し示していましたが、千年王国時代の人々にとっては、過去のイエスを指して、同じ宣言をすることになるのです。罪のない方の血が、あなたが積み重ねた罪の死を支払った。ですから、第四神殿といけにえについては、よくある質問で、いい質問ですね。もう一つ、よく聞かれる、第四神殿に関する質問に答えれば、イエスは、第三神殿を占拠して清め、そして、いわゆる"反キリストの座"を占拠されるのか？エゼキエルは、非常に多くの具体的な情報を与えます。アミールが言っていたように、私は別に第四神殿があると思います。ただ、第三の神殿を浄化し、千年王国時代の間イエスが占領するのではなく。

[アミール] ええ、エゼキエルが提示した次元は、私たちが知っている第一、第二、第三の次元よりもはるかに大きく異なります。今のモリヤ山でも、かないません。明らかに、地震によって極が移動し、異なる場所が出来て、おそらく今日のドームがある場所の北側になるでしょう。そしてその為に、もちろん多くの人々が興奮しているのです。なぜなら、今日の園の墓は、実際、神殿の丘の北側の最も高い場所に位置していますが、しかし同じ範囲で、そして興味深い事に、この周辺は、イエスが世にご自分のいのちを与えられ、また、そこに座って統治される場所なのです。

[マイク牧師] ええ。そうですね。もちろん寸法は、皆さん、実際にエゼキエル神殿の縮尺モデルを構築することができます。それが一つの大きな^{ひび}比喩だとするならば、アミールの言うように、なぜ彼はそこまで細部を告げたのでしょうか。よく考えてみてください。ここで次の質問に移ることにします。あと10分ほどあるので、できる限りのことをしようと思っています。アミールは、今日もツイートしていましたが、今日、質問に答えていましたね。私たちの、この世代は…というより

Q：「反キリストは、今、生きていますか？」

これが質問です。反キリストは、地球のどこかで生きていますか、アミール？

[アミール] 私はツイートしました...

[マイク牧師] ツイートして「はい」って言いましたね？

[アミール] 私は、彼が生きてると信じている、と言いました。そして、それを信じる理由は、希望的観測からではありません。

[マイク牧師] そうですね。

[アミール] それは、こんにちの現実を見ているからです。反イスラエル連合が、出来上がりつつあるのを見えていますし、エルサレムが手中に戻ってきたのを見えていますし、活発化するグローバリスト、世界統一秩序、それから新世界秩序、世界統一政府の動きを目の当たりにしています。それらが、どんどん力をつけて来ています。また、不法の秘密が働いて、至るところに反キリストの霊を見えています。見てください。私は、私が見たものを基^{もと}にしているのです。それは、イエスが語られた終わり時の描写どおりです。そこから、彼がすでにいることが理解出来ます。私たちは、彼のことを知る必要はありませんから、心配いりません。彼の正体が明らかになるのは、私たちがここを出てからです。だから、私たちはイエス・キリストと一緒にいるので、反キリストを見ることはありません。だから、それを覚えておかないといけません。ただ、私は絶対に…、ちなみに私は3つのことをツイートしました。その内の一つは、ちなみに、私はイスラエルで立候補したいと思った事があるか？それは即殺しました。最初にツイートしたのは「私は反キリストが生きていて信じている」2番目にツイートしたのは、「私が生きていた間に携挙が起こると信じている」ちなみに私だけではなく、パウロもそう思っていました。そして、私が3番目にツイートしたのは、「イスラエル国家には有効期限があるのか？」と聞かれたので、私は言いました。「確実に！」今は民主主義で、反キリストが独裁者になって、イエス・キリストが神主義になるのです。そして、私たちは唯一、神主義の一員になり…、またバリーがいなくなった。私たちは神主義の一員になりますが、独裁政権には関わりません。我々が出た途端^{とたん}、彼が入って、この専制政治を確立します。だから私が言いたいのは、私は本当に自国を愛し、民主主義を愛していますが、それは永遠には続きません。反キリストが、文字通りこの場所を支配しますから。ほら、イスラエルが砂漠に向かって逃げるなら、ヨルダン川を渡って、ある人たちは、こんにちのペトラであると示唆^{しき}しています。明らかに、イスラエルの主権国家はもう存在しません。明らかに、国会も政府も軍も何もかもが終わります。そして次に来るのは独裁政治か専制政治、そしてもちろん、キリストが戻って来ると神権政治です。神が統治され、私たちは間違いなく神とともに統治し、神とともに為政者になります。

[マイク牧師] はい。バリーが戻れるようにしましょう。とても素晴らしい、非常に包括的な回答でした。ね。アミール、終わりに近づきましたが、ユダヤ人として、ここで質問があります。質問者の名前をお伝えしましょう。ウェルナーです。

Q：「異邦人である私たちは、聖書の中のユダヤ教の祭日を祝うべきなのでしょうか？過越祭や、ラッパの祭りや仮庵の祭りや贖罪日のようなことをする事に、価値があるのでしょうか？」

ユダヤ人信者として、ウェルナーに何と言いますか？

[アミール] 私はこう言いたいのです。これらは主の祭りです。主がそれをイスラエルに与えられたのは、イスラエルが神のみことばと、主の律法や、戒め、すべてのものをもたらず為です。しかし私が信じるに、今は、特にイエスが成就されたことを考えると…、バリーが戻って来ました。特にイエスが成就された最初の四つ…というか三つ。四つ目で聖霊が来ました。私たちは、さらに大きな喜びと満足感の中で、それらを祝うことができます。なので…私は断言はしませんし、宗教的でもありません。こういう例祭を祝わない人は信者としてはダメだとは言いません。しかし、もし聖書がキリストを祝うための例祭を与えているのなら、やれば良いじゃないですか？ちなみに、クリスマスやイースターもそうです。両方に異教徒のルーツが、大量にあります。しかし、全世界がそれらを祝っているのなら、私たちはそれを機会として利用して、本当のイエスがどなたであるかを示すことができます。本当の“いのちの木”とは誰なのか、“明けの明星”は本当に誰なのか、本当にいのちをもたらずのは誰なのか。私はいつも言うのですが、イエスは、光の祭りをユダヤ人と祝うためにエルサレムに行きましたが、それは聖書的ではありません。当時、ハヌカは聖書的なものではなかったにもかかわらず、彼らはハヌカを祝っていました。それは伝統で、イエスはエルサレムに行かれました。どうしてでしょう？それは、世の光を語るチャンスだったからです。

[マイク牧師] つまり、異邦人として、私はこれらを祝わなくても罪にはなりません。しかし、もし私が自分の自由意志で祝う事を選ぶなら、利益があります。神の預言的な計画と、イエスがこれらの祝日を成就

させた事を結びつけ、理解することができますから。

[アミール] もちろん、私はそう信じています。宗教精神を忘れて、イエスと関係のあるものを喜ぶべきです。そして、それをする時は、イエスに言及して、世界にイエスのことを伝えるのです。それが全てです。正直なところ、イザヤ書1章を読んだ日のことは忘れられません。そして、その章を読んだときは息が止まりそうになりました。「それは預言者イザヤの言葉ではない」と思いました。イザヤ書1章で、主は言われました。「あなたがたの新月の祭りや例祭を、私の心は憎む。」(イザヤ書1:14)そして私は、「え？」あなたが「祝え」って言ったお祭りを憎むの？すると、「いや、わたしは、あなたがたが変えたものを憎むのだ。あなた方は、しなければならぬから、自動モードでやってるだけだ。しかし、それが何であるのか、その意味も分かっていない。まず来て、あなた方の手を清め、あなた自身の体を清めなさい。今、あなたは綺麗になった。では今、論じ合おう」私が言いたいのは今、私たちはきよく、私たちは、赦されているのです。私たちの罪は洗い流されたのです。緋のように赤かったのに、雪のように白くなりました。(イザヤ書1:18参照)私が言いたいのは、今こそ私たちは神の御前に来て、これらの祝日のすべてを、霊とまこととで祝うことができるのです。でもマイク、繰り返しますが、もし宗教的な立場で来るなら、そもそものポイントがズれています。また、「こうしなければならぬ、ああしなければならぬ」と言い、「これを着て、これを食べて、これを見せて、これをしなければならぬ」と言うなら、全てのポイントがズれています。

[マイク牧師] そうですね、死んだ宗教的な儀式的な生活は、いのちを与えません。

[アミール] イザヤ書1章を読み返してほしいのです。何度も何度も何度も繰り返して読んで、理解してください。神は宗教を憎み、主は関係を愛されます。キリストを通して、かつて緋のように赤かった私たちの罪が、雪のように白く洗われました。そして今、私たちは主の御前に来ることができ、「さあ、来たれ。論じ合おう」と主は言われます。

[マイク牧師] そう、大事なことです。

[アミール] バリー、このQ&Aで2回目の復活ですね。

[バリー牧師] 死からの帰還です。アミール、今、良い事を言いましたね。イザヤ書58章を思い出します。5節のところで、主は言われます。「わたしの好む断食、人が自らを戒める日とは、このようなものだろうか。葦のように頭を垂れ、荒布と灰を敷き広げることなのか。これをあなたがたは断食と呼び、主に喜ばれる日と呼ぶのか。」そして主は言われます。「わたしの好む断食とはこれではないか。悪の束縛を解き、くびきの縄目をほどき虐げられた者たちを自由の身とし、すべてのくびきを砕くことではないか。飢えた者にあなたのパンを分け与え、家のない貧しい人々を家に入れ、裸の人を見てこれに着せ、あなたの肉親を顧みることではないか。」それがイエスのミニストリーです。これらの断食の日や儀式や祭りは、すべてイエスを指し示すためのものでした。それが、認識すべき重要なポイントだと思います。もしあなたが例祭を儀式的な感覚で行い、それだけの価値なら、ただ儀式を行い、あるいは儀式を認識しているだけなら、そのすべて、一つ一つが、全部イエスを指しているのです。祭日、七つの祭りはイエスを指しています。

[マイク牧師] そう、バランスを取ってくれてありがとう。私たちはその質問をよく受けるし、死んだ宗教に飛び込みたがる人たちがたくさんいます。そして、主イエスとの力強い関係を見逃してしまう。

[アミール] 不幸なことに、多くの“ユダヤ主義者”が羊を混乱させていて、こうしなければならぬ、ああしなければならぬ、そうでなければ神の言葉を理解していない、と、ただただ馬鹿げています。

[マイク牧師] 悲しい。そう、とても悲しい。そして、それは新約の時代にもあったことが分かります。アミールのカメラの映像が消えましたが、彼は再び参加します。でも、皆さん。もう時間切れです。まる1時間、実際には1分オーバーです。ですから祈りで終わらしましょう。うまく行けば、アミールが戻って来て、最終的に結論や発表をしてくれるでしょう。というわけで、祈りで締めくくりますので、ご一緒にどうぞ。

主よ、今日も一緒に過ごせたことに感謝します。今日、このフォーラムに参加し、質問をしてくださった貴重なたましいを感謝します。バリー牧師が、今日も快く参加してくださり、ここで一緒に過ごす時間を取ってくださった事に感謝します。このような時に、私たちがイエスに目を向けていられるようにお祈りします。また、私たち全員が、その関係を本気で追求できるようにし、私たちにまとわりつき、気を散らすものを、すべて取り除いてください。主イエスの御名によって、私たちは祈ります。アーメン

[アミール] アーメン、アーメン。私が見えるかどうかは分かりませんが、マイク。

[マイク牧師] ああ、見えています。まだライブ配信中です。バリーが見えなくなった。

[アミール] バリーが見えなくなりましたね。このようなことは起こります。しかし今でも、こういったことを可能にしてくれている技術には感謝しています。それに、必死で推し進める事をしなければ、こんな問題も起こりません。だから、私たちはそれでいいのです。マイク、皆さんには、ソーシャルメディアでフォローするようお願いいたします。私たちのニュースレターを購読（無料）すると、リアルタイムで私が個人的に書いたイベントやミニストリーの最新情報を得ることができます。

また、BeholdIsrael Instagram Facebook Twitter YouTubeでもフォローしていただきたいと思います。そして、まもなくとてもエキサイティングな動画をリリースします。「時を超えたエリヤの日々」「時を超えたエリヤの日々」息子のアリエルと私で、少し前に撮影しました。ティザー広告とプロモ動画を掲載しましたが、きっと気に入ると思いますよ。バリーに感謝、マイクに感謝。私たちと一緒にいてくれた全ての人に感謝したいです。皆さんありがとうございます。

ガリラヤからシャローム。神の祝福がありますように。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.06.09 (Tue)